〔日本の子どもたちの学力課題〕: PISA 調査から

- 1 読解力、判断力や表現力が十分に身に付いていないこと。
- 2 勉強が好きだと思う子どもが少ないなど、学習意欲が高くないこと。
- 3 学校の授業以外の勉強時間が少ないこと。

D

D

D

《高野小学校の児童の学力課題》:全国学力調査・学力テストから

- 1 表現力、思考力が十分に身に付いていないこと。 2 国語において、読解力に課題があること。
- 3 学力に個人差があり、学年が上がるにつれ二極化している。

令和2年度

棚倉町立高野小学校

学力向上グランドデザイン

重点事項 主体性の育成

【第6次福島県総合教育計画】 〈基本目標〉

- 1 知・徳・体のバランスのとれた、社会 に貢献する自立した人間の育成
- 2 学校、家庭、地域が一体となった教育
- 3 豊かな教育環境の形成

【県南教育事務所】

○夢と希望をはぐくむ県南の教育

【棚倉町の学校教育】

目標「子ども一人ひとりが夢を持ち夢 を実現できる確かな学力を身に 付けさせる」

◎基本理念

人を心を時をつなぐたなぐらまち

○基本目標

輝きつづけるひとづくり

◎長期的目標の達成

将来の夢・希望・目標

○短期的目標の達成 1日・月・学期の目標

生きる力

- ◎基礎的・基本的内容の 確実な定着
- ◎自ら学び自ら考える力 (問題解決的な学習)

確かな学力

- 1 知識・技能の学習 2 学習意欲などの動機
- 3問題解決的な学習

学力向上の基礎力

主体性の確立

自分たちで課題に気づき、そ の解決のために行動することが できる。

学習レディネス向上カリキュラム

学びを支える生活習慣・学習基盤

○ 低学年ではやるべきことを理解して自主的に行動する態

○自己決定の場を与える: 自分で考え選択する機会を作り、

ける。

○共感的人間関係を育む: ありのままに自分を語り、認め

○「難しいことでも粘り強く努力する」学習の基本的な条件 ○ 相手の立場を考え、わがままを押さえ、集団の規則を順守

づくりをする。

度を育み、中学年から高学年にかけては自分たちの気づき

幼稚園·低学年

- 学習レディネスの向上
- 1読みを育てる 2書きを育てる 3数を育てる

1 健康と生活習慣の確立

2 自主性・主体性の育成

○朝昼夜のバランスのとれた食事

3 自己肯定感と自己指導能力の育成

○自己存在感を与える :

で行動する主体的な態度を育てていく。

○規律正しい生活

○適度な運動

○十分な睡眠

幼稚園教育との系統

- ◎よく考える子(知)
- ○自ら考えて行動する 子ども (自主性)

責任ある行動とれるように働きか

自分が価値あるかけがえのない

存在であると実感でき、集団の中

に居場所を感じられるような学級

合える人間関係づくりを支援する。

教科的学力(知識・理解・技能)

重点 | 学び方を確実に身につけた子どもの育成

【視点1】わかる・できる授業の実践

- ○個に応じたきめ細かな指導
- 「指導と評価」の一体化を意識した授業
- ○主体性を培う問題解決的学習・体験的学習

【視点2】対話を通して学びを深めることを視点とした実践

- ○自分の思いや考えもてるようにする○思いや考えを広げ深めることができるようにする
- ○「何を学習したか」を明確にする ○校内組織を生かした研修・研究の充実

【視点3】家庭学習の時間の確保と継続的な取り組み

- ○家庭学習を意識した授業の実践 ○保護者と連携できる生活ノートの研究
- ○「主体的に学ぶ」力を身に付ける研究
- ○長期休業中(夏休み・冬休み・春休み)の学習の在り方
- ○高野さんすう教室(習熟度別テスト)の実施

活用的学力(思考力・問題解決力・読解力・表現力など)

重点 | 夢や希望を実現しようとする子どもの育成 (キャリア教育)

【視点1】未来マネジメントサイクル(RVPDCAサイクル) を生かした学習や活動

 Research (実態把握)
 どんな課題があるか

 Vision (目標設定)
 なにをどの程度目指すか

 Plan (計画)
 どのように課題解決するか

 (実践実行) 計画を実践、実行できるか Do

Check (評価) 目標は達成できたか 次にどうつなげるか (改善) Action のサイクルを回しながら学習や活動に取り組んでいく

【視点2】基礎的・汎用的能力を意識した授業づくり

- ○人間関係形成・社会形成能力 ○自己理解・自己管理能力 ○キャリアプランニング能力 ○課題対応能力
- 児童と教師がこの4つの資質能力を意識して授業に臨む。

【視点3】基礎的・汎用的能力を意識した取り組み

- ○キャリアパスポート (未来へのアルバム) の作成○マイ自由研究の実施○高野さんすう教室の
- ○マイ自由研究の実施 ○親子ふれあい読書の実施 ○元気タイムの実施
- ○かしこく楽しいプロジェクトの実施

【評価の方法】

- 1学校評価(年2回のアンケート)
- 2授業参観評価
- 3福島県定着確認シート
- 4標準学力調査 (CRT)

6キャリア能力意識調査

5全国学力テスト・ふくしま学力調査

- 4 将来の夢や目標が話せる児童

100% 80% 90%

【評価内容と数値目標】

- 1 学校が「楽しいと」答える児童
 2 授業が分かる・できると答える児童
- 家庭学習 学年×10分+10分

100%

家庭教育の中で保護者が取り組めること

○「落ち着いて集中して勉強する」学習の基本的な姿勢

- 1 規律正しい生活をさせる。(自立・自律)
- ○起床・登校・食事・入浴・就寝を予定通りきちんとさせる。
- 2 子どもの心と健康状態を把握して学習時間を確保する。

4 集中力・注意力・根気強さ・社会性を身に付ける。

○ 相手や他人の立場や利害や感情に気を配れる力

- ○悩み・疲れ・体調不良・病気などを把握する。
- 3 子どもの将来の夢や目標について話し合う。 宿題やテストについて確認する時間を確保する。
- ゲームの時間を「読書の時間」に少しでも替える工夫をする。
- 勉強をする場所を決める。(できるだけ目の届く場所で!)

指導と評価の一体化

指導の改善

- ○毎時間の授業の評価を次時の指導に生かす(指導と評価の一体化)
 ○授業参観評価から保護者との連携内容を確認する(学校教育と家庭教育の協働)
 ○学校評価から(前期:重点項目の中間アンケートを生かし、指導の改善と後期の指導方法を探る。)
 (後期:1年間の指導の反省をし、次年度の重点項目及び数値目標を決定する。)
 ○定着確認シートを活用し、児童ひとりひとりの習熟度を確認し、個別指導に生かす。
 ○各学力テストの結果を分析し、学年ごとの実態と個人の実態を把握し、次年度の学力向上ビジョンを確定する。

